

令和7年度 世田谷区立中里小学校

学校評価アンケート結果と考察

令和8年3月10日
世田谷区立中里小学校
学校関係者評価委員会

保護者アンケート 197件 (74%)

児童アンケート 154件 (3年～6年生)

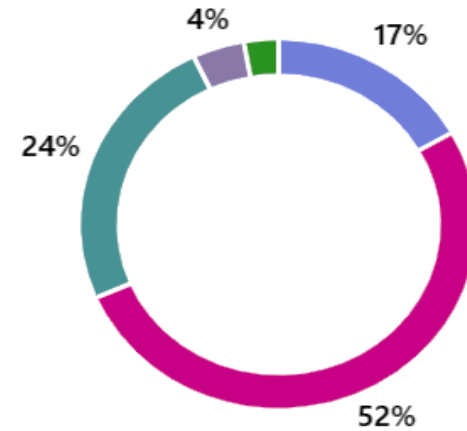
アンケート回答率 74%

保護者・地域

3. 中里小では、教科担任制の導入によって、「わかりやすい授業」が実践されている。

[詳細情報](#)

● 1. とてもそう思う	24
● 2. そう思う	74
● 3. どちらともいえない	35
● 4. あまりそう思わない	6
● 5. まったくそう思わない	4



【分析】

肯定的な意見が69%となりました。教科担任制のメリットとして、教材準備・研究の時間が確保され、より専門性の高い実践が可能となる、ということがあります。その観点からすると、まだ伸びしろのある数値と受け止めることができます。今後、より「わかりやすい授業」の実践に、工夫と努力を重ねていきたいと思えます。

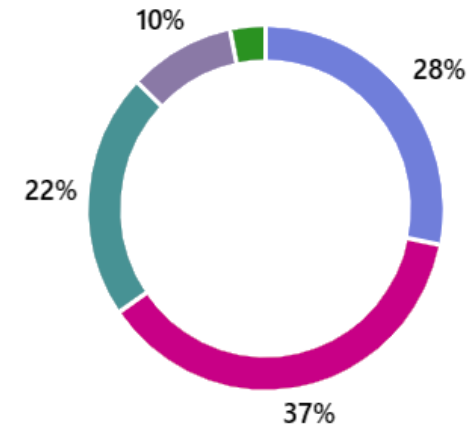
アンケート回答（3～6年生） 154名

児童

3. 教科担任制になって、授業が分かりやすくなった。

[詳細情報](#)

● 1. とても思う	44
● 2. そう思う	58
● 3. どちらともいえない	34
● 4. あまりそう思わない	15
● 5. まったくそう思わない	5



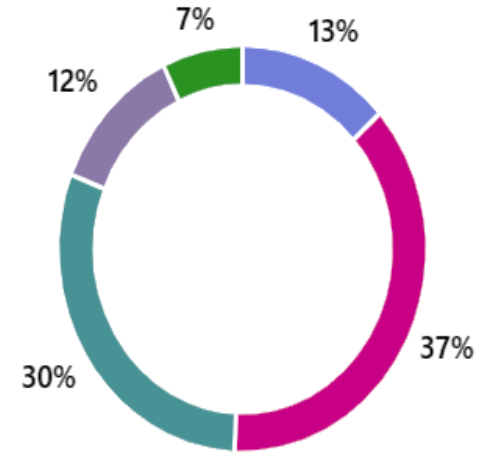
【分析】

児童アンケートでは、67%が肯定的な受け止めをしています。設問「7 先生は分かりやすい授業をしてくれる」の肯定的な数値が93%と高い数値になっていることをふまえると、「教科担任制」と「授業力向上」の関係性については、もう少し考察を進めていく必要がありそうです。

4. チーム担任制は、子どもたちにとって、教育的価値のある有効な指導体制である。

[詳細情報](#)

● 1. とてもそう思う	19
● 2. そう思う	53
● 3. どちらともいえない	43
● 4. あまりそう思わない	17
● 5. まったくそう思わない	10

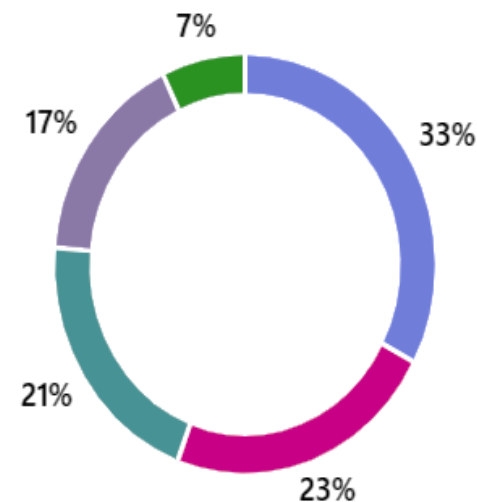


【分析】

今年度新たに取り入れた「チーム担任制」については、保護者アンケートでは、肯定的な意見がちょうど50%（否定的な意見は19%）となり、まさに「賛否両論」があることが明確となりました。いただいたご意見や、児童の実態を踏まえ、慎重に次年度の指導体制を検討してまいります。

4. チーム担任制となり、担任の先生がローテーションになってよかった。

● 1. とても思う	51
● 2. そう思う	36
● 3. どちらともいえない	32
● 4. あまりそう思わない	26
● 5. まったくそう思わない	11



【分析】

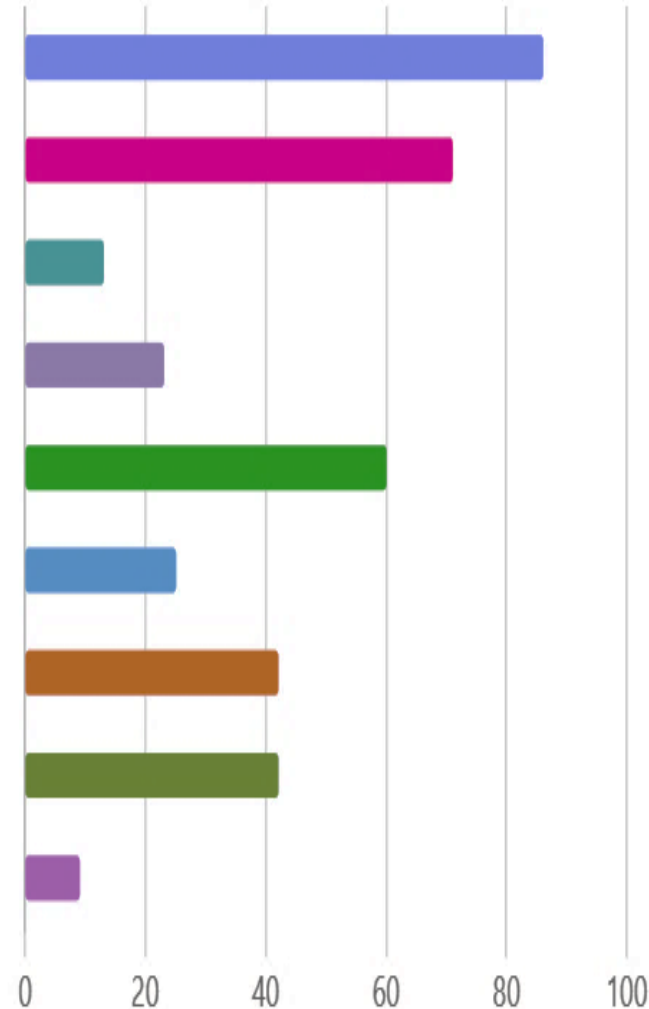
今年度新たに取り入れた「チーム担任制」についての児童評価は、肯定的な意見が56%でした。これは保護者アンケートの肯定的な数値よりも6%多い数値となっています。

しかしその一方で、否定的な意見が24%あり、これは保護者評価よりも5%多い数値となっています。数値の通り、児童のあいだでも「チーム担任制」には賛否両論があるということがはっきりしています。次年度の指導体制を検討していく際に、各児童ごとの回答内容も確認し、児童の実態をより細やかに把握・分析してまいります。

5. チーム担任制の成果や課題について、お感じになっていることを選択してください。

保護者・地域

- 子どもが、いろいろな先生の指導を受けられることについて、肯定的に受け入れている。 86
- 子どもが、いろいろな先生と相談したり話したりできることについて、肯定的に受け入れている。 71
- 保護者が、相談できるチーム内の教員を選ぶことができる。 13
- 担任がローテーションすることで、いわゆる「学級崩壊」を回避することができている。 23
- 教員が情報を共有し、協力して子どもに関わっている。 60
- 教員同士の引継ぎ・情報伝達に、漏れがみられる。 25
- 担任の子どもへの理解が、担任固定制に比べると、十分でない。 42
- トラブルなどの込み入った相談の際に、担任が変わるので心配があった。 42
- 従来の固定担任制と大きな変化は感じられない。 9



詳細情報

【分析】

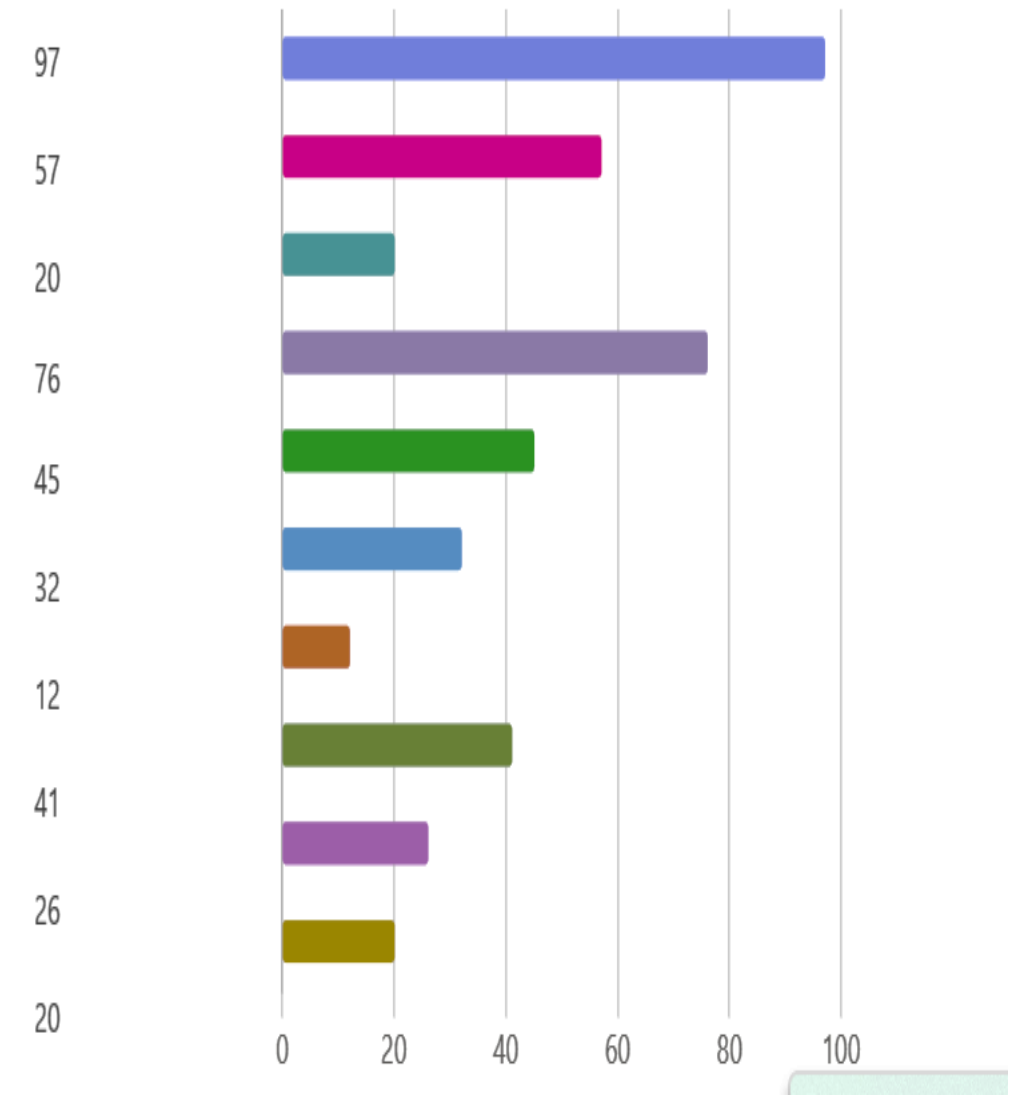
授業や日頃の相談について、複数の教員と関わるという、チーム担任制のメリットについて、多くの方が選択してくださっています。情報共有についても、チームの教員の取り組みを多数評価していただいています。

一方で、当初より懸念材料であった、確実な児童理解や、トラブル対応等の責任の所在といった点について、やはり不安であるというご意見も少なからずいただいています。

成果と課題、課題については、その対策も含めて、校内で検討を進めてまいります。

児童

- いろいろな先生の授業が受けられるようになってよかった。
- いろいろな先生と相談したり、話したりできてよかった。
- お家の人も、いろいろな先生と連絡・相談できている。
- 担任の先生が変わると、クラスの空気も変わる。
- チームの先生たちが協力して、自分たちと関わってくれる。
- 自分たちでクラスのことを決められるチャンスがふえた。
- チームの先生同士で、連絡がしっかりできていないことがあった。
- 担任の先生がずっと固定されていた方が、安心する。
- 相談したいことがあったときに、どの先生に相談してよいか迷うことがある。
- 昨年まで（担任の先生が固定だったころ）と、あまり変わらない。



【分析】
児童アンケートでも、複数の先生の授業を受けられることを、たくさんの子どもたちが肯定的にとらえていることがわかります（62%）。
また、担任がローテーションすることで、クラスの雰囲気が変わってくることも、どちらかといえば肯定的にとらえているようです。
一方で、安心感がもちにくいという不安を25%の子が感じています。
そうした不安に寄り添って、次年度の向き合い方を検討していく必要を感じています。

6 チーム担任制の成果や課題について、その他ご意見がある場合にはご回答ください。

記述回答率
(25.4%)

【主な回答内容】

保護者・地域

- 先生方に負担が大きそう。
- 先生によって態度を変える子がいる。
- 宿題の量が先生によって変わった。
- 子どもはローテーションを楽しみにしている。
- 先生方の共有が不十分なときがあった。
- 面談のときに、表面的な話だけで終わってしまった。
- 子どものよさのフィードバックがあまりなかった。
- 学期に一度も話す機会のない先生もいた。
- 児童の自立を高めることにつながっている。
- チーム担任制なら学年内でローテーションするのがよいのでは。
- 担任ローテーションの時期に子どもの行き渋りがでた。
- 高学年のみのチーム担任制がよいと思われる。
- いろいろな先生と関わって、語彙も増えた。
- 相談事があるときの責任の所在があいまいでは？
- 相談する先生を選べるのはありがたいが、先生を査定するようで、心苦しい。
- 先生が変わることで、学力の把握や理解度の把握が十分できるのか心配。
- 先生方がやりやすい方法を検討して実践してほしい。
- いろいろなことが安定しておらず、意味がないのでは。
- 1人で100人の児童をみるのは、目の届かない児童がでる。
- この制度の導入に当たって、説明や意見交換が十分ではなかった。
- 多様な価値観に触れられるのはとてもよい。
- クラスをリセットできるので、結果としてよくなる。

【分析】

チーム担任制に伴う、不安定さ（児童理解・責任の所在等）についての記載が多く寄せられました。

「設問5」の回答と併せて、課題が明確となっておりますので、その解決方法について継続的に試行錯誤を繰り返すとともに、次年度の指導体制検討の参考とさせていただきます。

6 チーム担任制の成果や課題について、その他ご意見がある場合にはご回答ください。

【主な回答内容】 **児童**

- 担任の先生変わるときにふわっとなくなってしまう。
- 先生がかわるとクラスの雰囲気がかわって、よい。
- いろいろな先生の授業を受けると雰囲気がハッピーになる。
- 教わったことのない先生から教われた。
- 教科の知識をしっかりと教えてくれる。
- 先生によって子どもが態度を変えるのはよくない。
- 連絡したいときに先生が不在でやりとりがしにくい。
- チーム担任制か教科担任制かどちらかでよい。
- 授業がわかりやすくなった。
- いろいろな先生と話しやすくなった。
- 先生によってルールがちがって混乱することがある。
- 先生になれたと思ったら変わってしまっていて、関係が最初からになる。
- いろいろな先生のことを知ることができてよかった。
- 先生がかわるとわかりにくい（今の自分の担任もわからないときがある）。
- 一色のクラスが四色になっている。
- 相談できる先生がふえた。
- 宿題のやり方が共有されていなかった。

【分析】

チーム担任制のよさや課題を、子どもたちなりにしっかり受け止めて、回答してくれています。

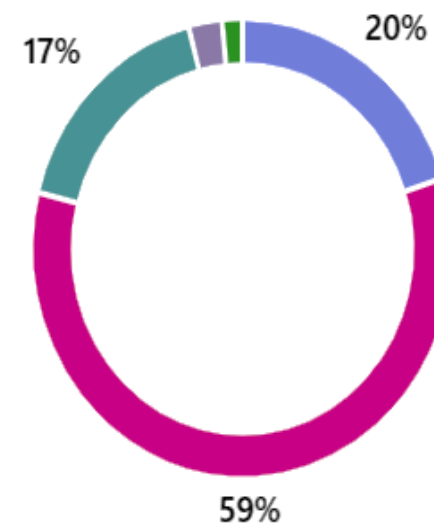
保護者アンケートで得られた回答と類似するものも多く、子どもたちなりによく考えていることが伝わります。

こうした意見や考えを尊重しながら、次年度の体制の検討を進めていきたいと思えます。

7. 教員は、わかりやすい授業を実践している。

[詳細情報](#)

● 1. とてもそう思う	39
● 2. そう思う	115
● 3. どちらともいえない	33
● 4. あまりそう思わない	5
● 5. まったくそう思わない	3



【分析】

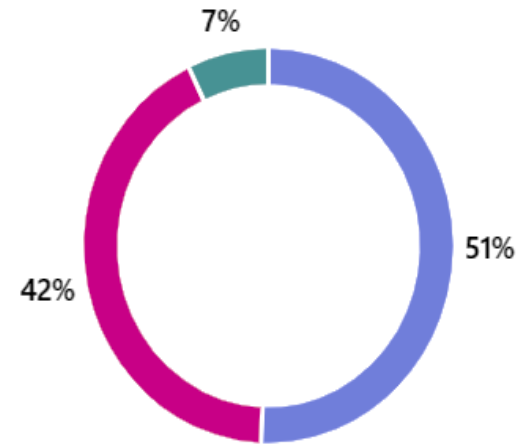
「わかりやすい授業」は、教育活動でも重要な柱となります。

概ね高評価をいただいておりますが、それでも、さらに高めていく必要があると受け止めています。授業中の課題の提示方法、探究活動の取り入れ方、まとめ方、理解を習熟させる方法等について、日々試行錯誤し、効果がみられる取組については共通実践していきます。そのための校内研究、研修を定期的 to 実施し、授業改善を積極的に図っていきたいと思います。

7. 先生は、分かりやすい授業をしてくれる。

[詳細情報](#)

● 1. とても思う	79
● 2. そう思う	66
● 3. どちらともいえない	11
● 4. あまりそう思わない	0
● 5. まったくそう思わない	0



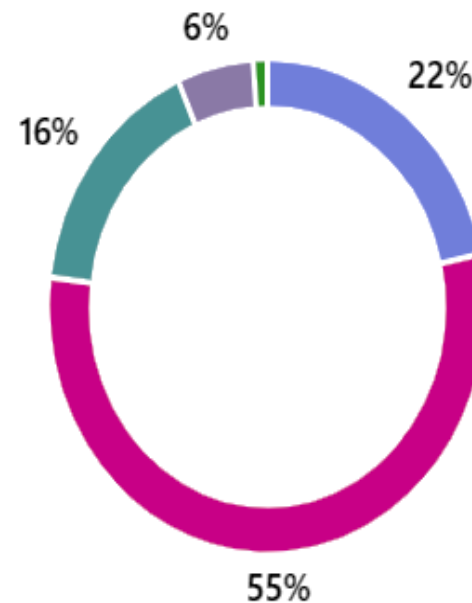
【分析】

「わかりやすい授業」は、児童アンケートでは、93%の肯定的評価となっています。保護者アンケートよりも14ポイント上回っており、子どもたちは授業で学習成果を感じてくれていることを、学校としてポジティブに受け止めていきたいと思えます。とはいえ、授業実践は教育活動の主活動となりますので、継続的な授業改善を積極的に図っていききたいと思えます。

8. 教員は、子どもが意欲的に取り組めるような授業の工夫をしている。

[詳細情報](#)

● 1. とてもそう思う	42
● 2. そう思う	108
● 3. どちらともいえない	32
● 4. あまりそう思わない	11
● 5. まったくそう思わない	2

**【分析】**

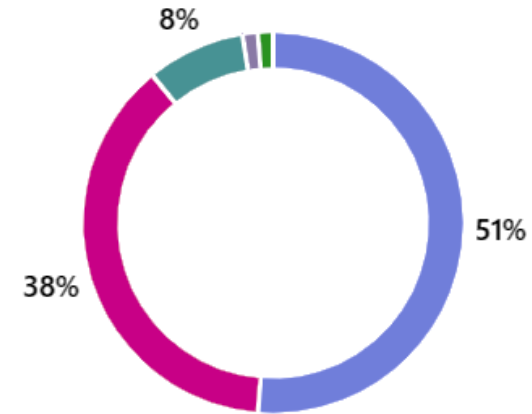
設問「7」と同様に、授業改善はひとつの大きな課題として認識し、校内研究、研修を中心に、改善を図ってまいります。

児童

8. 先生は、授業が楽しくなるように工夫をしている。

[詳細情報](#)

● 1. とてもそう思う	80
● 2. そう思う	59
● 3. どちらともいえない	13
● 4. あまりそう思わない	2
● 5. まったくそう思わない	2



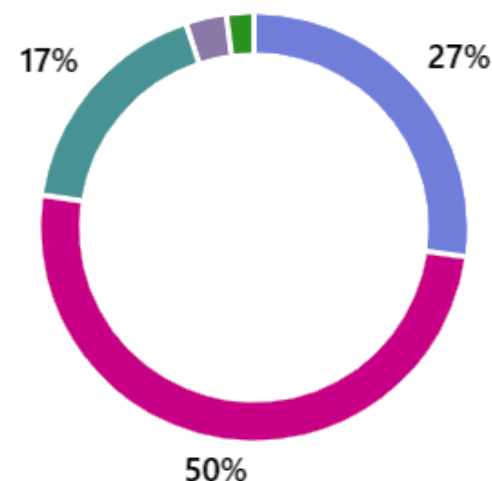
【分析】

肯定的な意見が、保護者アンケートのポイントよりも12ポイント上回っています。設問「7」と同様の傾向がみられます。引き続き教材研究をしっかりと取り組んでいきたいと思えます。

9. 教員は、「中里WAY」（子どもたちに寄り添い、一人ひとりを大切にする教育活動）を実践している。

[詳細情報](#)

● 1. とてもそう思う	53
● 2. そう思う	98
● 3. どちらともいえない	34
● 4. あまりそう思わない	6
● 5. まったくそう思わない	4

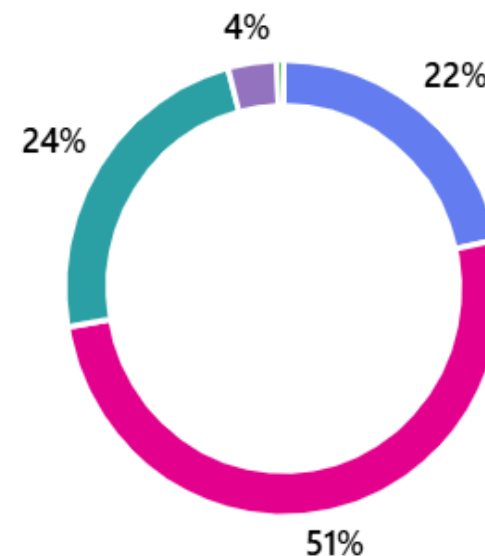
**【分析】**

「中里WAY」の実践について、肯定的な回答を77%いただいています。この「中里WAY」は、本校の教育活動の指針となる教育的態度ですので、より確かな実践が求められます。

「子どもたちに寄り添う」「一人ひとりを大切にする」というスタンスを、日々の教育活動でどのように具現化していくのか、研修を深めていく必要があると考えています。

10. 教員は、親身になって子どもたちの相談にのっている。

● 1. とてもそう思う	42
● 2. そう思う	99
● 3. どちらともいえない	46
● 4. あまりそう思わない	7
● 5. まったくそう思わない	1



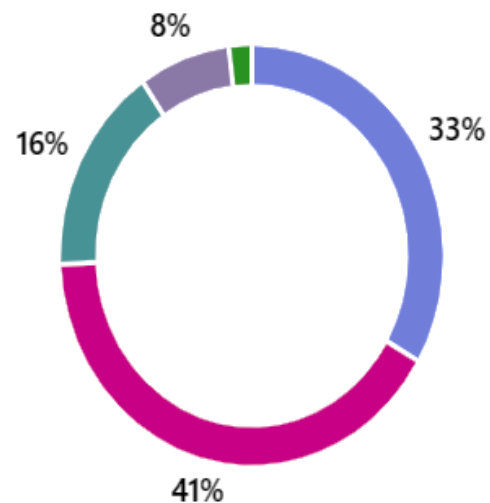
【分析】

「設問9」と同様の課題が示されています。
子どもたちのかかわりのなかで、特に対応や判断に迷う場面こそ、「子どもに寄り添う態度とは？」という問いに立ち返って指導・支援を進めるよう、共通実践を図ってまいります。

9. 先生は、親身になって相談にのってくれる。

[詳細情報](#)

● 1. とても思う	52
● 2. そう思う	64
● 3. どちらともいえない	25
● 4. あまりそう思わない	12
● 5. まったくそう思わない	3



【分析】

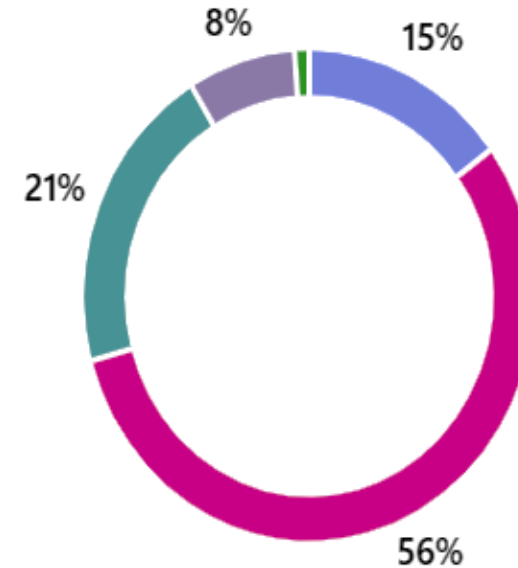
児童の肯定的な意見は74%で、「設問8・9」の保護者アンケートと同様の課題が示されています。

「子どもたちに寄り添う」「一人ひとりを大切にする」というスタンスを、より現場に浸透させていくために、冬休み中に教員研修を行いました。専門の講師を招いて、児童との共感的な関わり方や、発達特性のある児童の理解のしかた等について研鑽を深めました。

11. 学校からの宿題などの課題は、量的にも質的にもおおよそ適切である。

[詳細情報](#)

● 1. とてもそう思う	29
● 2. そう思う	109
● 3. どちらともいえない	40
● 4. あまりそう思わない	15
● 5. まったくそう思わない	2

**【分析】**

宿題の出し方については、70%以上の方から肯定的な意見をいただいておりますが、再考の余地があるとも考えています。

難易度、量、タイミングなどが児童の実態に沿っていなければ、効果は半減し、逆に負担感が増します。

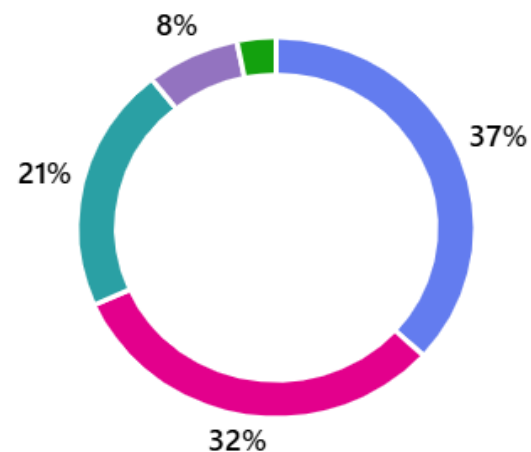
3年生以上は、チーム内で、1, 2年生は学年内で、あらためて宿題についても確認をしていきます。

児童

10. 宿題の量やむずかしさは、ちょうどよい。

[詳細情報](#)

● 1. とてもそう思う	58
● 2. そう思う	50
● 3. どちらともいえない	33
● 4. あまりそう思わない	12
● 5. まったくそう思わない	5

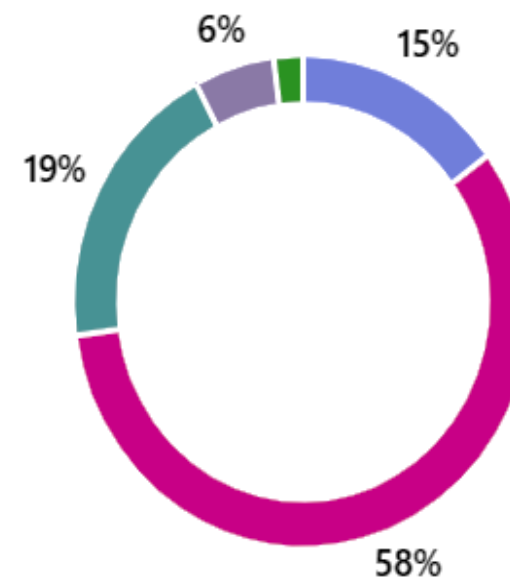


【分析】

宿題の出し方については、児童からも、70%近くの肯定的な意見を得ましたが、やはり改善点はあると考えています。3年生以上では、チーム内の先生で、宿題の出し方や丸付け・確認の方法が違っているという声もあったので、どこまでを学年・チームの共通実践とし、どこまでを担任裁量としていくか等の細かい部分も打ち合わせを進めていきたいと思います。

12. 教員は、「中里ルール」や「タブレットルール」を守るよう、指導している。

● 1. とても思う	29
● 2. そう思う	113
● 3. どちらともいえない	38
● 4. あまりそう思わない	11
● 5. まったくそう思わない	4



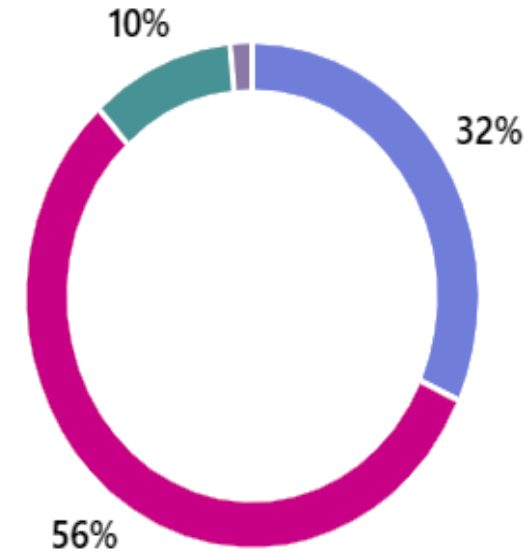
【分析】

「中里ルール」はもちろんですが、今後より喫緊の課題となるのは「タブレットルール」の指導の徹底です。授業中に学習に関係ないサイトを開いてしまったり、家庭で長時間動画等を観てしまったり、不適切な使用がしばしばみられます。ご家庭とも連携して、ルールの徹底を図るとともに、不適切な使用とならないための「制限」を端末及びアプリにも組み入れていけないか、区教育委員会にも相談をしてまいります。また、タブレットはあくまで、「学習用」に貸与されているものなので、不適切な使用が続いてしまう場合には、学校のほうで一時預かる対応をしていくこともあります。あらかじめご了承ください。

13. 中里小は、「スポーツフェスタ」や「アーツフェスタ」など行事で子どもの力を伸ばしている。

[詳細情報](#)

● 1. とても思う	62
● 2. そう思う	110
● 3. どちらともいえない	20
● 4. あまりそう思わない	3
● 5. まったくそう思わない	0

**【分析】**

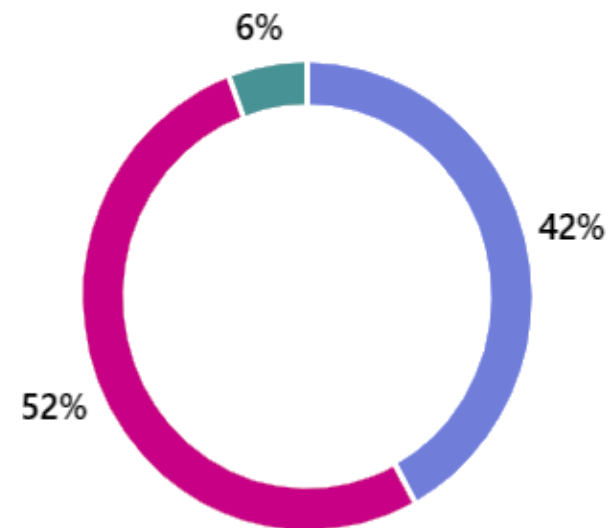
行事への取組は、肯定的な意見が88%と、高い評価をいただいています。

行事を通して子どもたちが成長していくことを、教職員も励みにしつつ、引き続き行事への取組を進めてまいります。

14. 中里小は、避難訓練や「中里防災の日」など、災害時に備えた安全教育に力を入れている。

[詳細情報](#)

● 1. とてもそう思う	82
● 2. そう思う	102
● 3. どちらともいえない	11
● 4. あまりそう思わない	0
● 5. まったくそう思わない	0



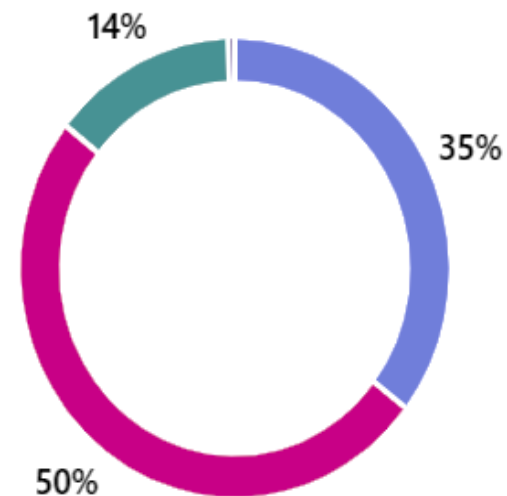
【分析】

防災に対する取組は、肯定的な意見が92%と、高い評価をいただいています。緊急時に的確な対応と避難行動が取れるよう、引き続き防災活動を進めてまいります。

15. 中里小は、ホームページ・すぐーるなどで学校の様子や伝達事項を適宜発信している。

[詳細情報](#)

● 1. とても思う	69
● 2. そう思う	98
● 3. どちらともいえない	27
● 4. あまりそう思わない	1
● 5. まったくそう思わない	0



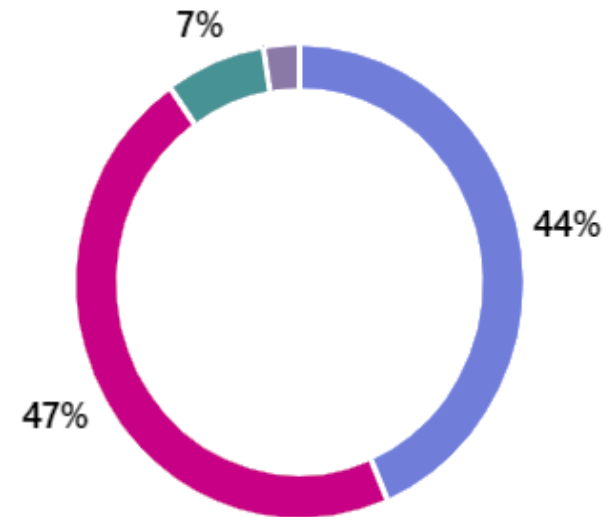
【分析】

いつもすぐーるや学校ホームページをご覧いただきありがとうございます。
引き続き、本校の教育活動に関わる内容を、積極的に公開してまいります。

16. 中里小は、学校公開等によって、学校の様子を十分開示している。

[詳細情報](#)

● 1. とても思う	85
● 2. そう思う	91
● 3. どちらともいえない	14
● 4. あまりそう思わない	5
● 5. まったくそう思わない	0

**【分析】**

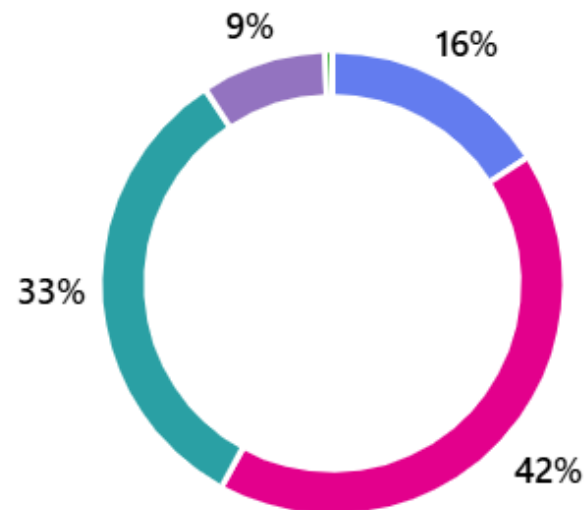
今年度から土曜日授業が毎月ではなくなりましたが、学期に1回の土曜公開は続けてまいります。また、平日の公開についても、今年度同様に設定をいたします。

また公開日でなくとも、事前に個別にご相談いただくことで、教室の様子をみていただくことも可能です。

17. 中里小は、「泉の学び舎」として、中学校や近隣の小学校と連携している。

[詳細情報](#)

● 1. とてもそう思う	31
● 2. そう思う	82
● 3. どちらともいえない	64
● 4. あまりそう思わない	17
● 5. まったくそう思わない	1



【分析】

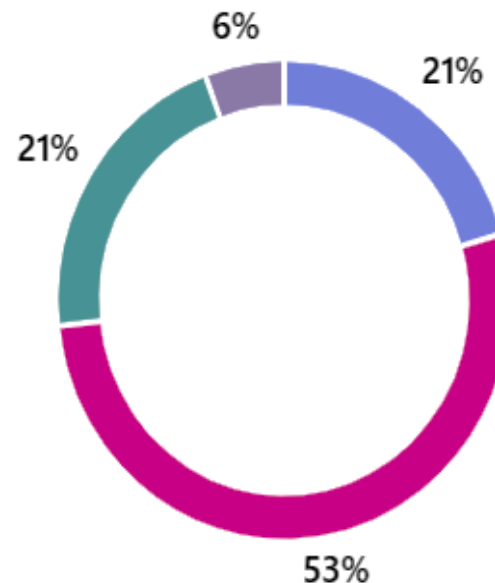
「泉の学び舎」の活動は、教職員が小・中それぞれで授業公開を行ったり、中学校体験で、児童が授業・部活を参観（または参加）させてもらったりしています。学期に1，2回程度行っており、9年間に及ぶ小中の教育活動がよりスムーズに進むための取組をしております。それらの活動について、より多くの方に知っていただくための周知が必要であると考えています。

18. 学校は、地域と連携して教育活動を行っている。

保護者・地域

[詳細情報](#)

● 1. とても思う	40
● 2. そう思う	103
● 3. どちらともいえない	41
● 4. あまりそう思わない	11
● 5. まったくそう思わない	0



【分析】

本校は、数多くの地域の方々に支えられて教育活動を進めています。ゲストティチャーにおいでいただいたり、中里防災の日で防災活動にご協力いただいたりしています。また、学校運営委員会や学校関係者評価委員会の皆様からは、学校運営に関わることも含め貴重なご意見を定期的にいただいています。今後とも、このような活動を進め、ホームページ等でより広くお知らせしていきたいと思えます。

さらに、PTAの各運営委員の皆様や遊び場開放、おやじの会の皆様にも、年間を通じ多大なご協力をいただいています。教育課程にはない地域イベントを、保護者・地域の方が積極的に運営してくださることで、子どもたちの健全育成に大きな貢献をしていただいています。改めて感謝申し上げます。

【主な回答内容】

保護者・地域

- 素敵な担任が2年間続いた。
- 先生方に感謝している。
- チーム担任制は高学年からがよい。
- 旧校舎の安全点検をお願いしたい。
- ホームページの情報発信がありがたい。
- 学校公開等のイベントの案内を2週間前にはお願いしたい。
- 困り感のある子たちの居場所をつくってほしい。
- 先生方の負担のない指導体制を選択してほしい。
- 毎年病気療養される先生が多く、子どもへの影響が心配。
- テストの実施日や範囲を教えてください。
- 西門の施錠がなく誰でも入って来られるのが心配。
- 担任の先生が病休中で心配。保護者会で説明してほしい。
- チーム担任制には不安を感じていて反対である。
- 宿題の最適解を見つけてほしい。
- 先生の指示を聞かない子にはきちんと指導してほしい。
- 算数の少人数制はとてもありがたい。
- 子どもたちを丁寧に見てくださっている。
- もっと運動する機会を増やしてほしい。
- 先生の交代時には不安もあるが、温かい声かけがある。

【分析】

自由意見のご記入ありがとうございました。

温かいお声と、的確なご指摘をいただけたこと、校内でも共有し、協議してまいります。

引き続き、本校へのご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。